

《学校教育目標》		〈重点目標（中長期的目標）〉	
幅広い教養と高い専門性を追求し、社会に開かれた学びをとおして、平和な未来に貢献できる心豊かな人間を育成する		<p>【ひとづくり(豊かな情操を育む人間形成)】</p> <p>1 生命の尊厳を自覚し、真理と正義を愛する知識・教養・創造性豊かな人間の育成に努力する。</p> <p>【ものづくり(付加価値の創造)】</p> <p>2 独創(Originality)・想像(Imagination)・工夫(Device)・努力(Effort)の精神を尊重し、工業・商業両分野における“ものづくりの拠点校”としての役割を果たす。</p> <p>【学校づくり(充実した学びの場の構築)】</p> <p>3 安心・安全な学校(いじめ・体罰のない)をめざすとともに、環境教育や総合技術高校としての専門教育の推進等による特色ある教育システムを構築する。</p>	
領域	項目	具体的な教育活動	成果と課題
ひとづくり	1 自他を大切にす心の育成	<ul style="list-style-type: none"> 様々な教育活動を通して自己理解を深める取り組みを行い、自己肯定感や他人を思いやる気持ちを育てることにより、命を大切にす教育を推進する。 メディアリテラシー、人権平和教育等に関する教育活動を推進する。 自主的な生徒会活動や積極的なクラブ活動への取り組みを行う中で、地域との繋がりや他者を思いやる気持ちを持った豊かな人間性を育む。 「いじめ防止基本方針」を定め、「いじめ」を許さない学校づくりを推進し、いじめ被害の未然防止・早期発見・迅速な解決を目指す。 	
	2 基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活において、職員全体による働きかけから挨拶・服装・頭髪などに対する生徒自身の意識を向上させるとともに、5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の充実を図る。 生徒会役員を中心とした朝のあいさつ運動や生活委員会の活動を通して、学校全体が心を通わせ、規則正しい生活が送られるように方向付ける。 	
	3 得意分野の伸長(卓越性の伸張)	<ul style="list-style-type: none"> 個々の意欲や特性ならびに能力を活かした活動ができるような環境や指導体制を整えるとともに、活動を広く発信することにより活動意欲を喚起する。 課題研究をはじめ様々な授業で積極的に外部との連携をはかり、21世紀型スキルの一つであるコミュニケーション力の伸長をはかる。 授業、クラブ活動、行事等をリンクさせ、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し行動して、問題を解決する能力を身につけさせる。 キャリアデザインに繋がる資格・検定・コンテストの情報提供を行うとともに、資格取得に向けて生徒の要望や実態に合わせて講習会や補習授業を実施する。 終業式等の全校集会時に難易度の高い資格取得や検定合格を表彰し、資格検定の紹介を模造紙サイズに印刷して廊下や階段に掲示するなどの工夫を行い、資格取得に向けての意識づけを強化する。 	
ものづくり	1 基礎学力の定着(高校教育の共通性確保)	<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣を身につけさせ、学ぶ意欲の向上を図る。 地域社会の課題に関心を持たせ、課題解決学習を通して学び続ける力の育成を図る。 「考査前学習週間」を設定し、各学年毎に朝学習を計画的に実施して学習習慣の定着と学習時間の確保を図る。 新型コロナウイルス感染症に伴う様々な事態に備え、ICT機器を活用した学習支援態勢の構築を図る。 月に一度HRで活用できる道徳教育ワークシートを配布、様々な社会的課題や地域の問題についての知見を深め、関心をもって問題解決に向かおうとする態度を養う。 	
	2 専門力の伸張	<ul style="list-style-type: none"> 学科の教育指導方針に沿い、職業人としての心の育成、資格・検定取得のための指導、地域人教育での社会人基礎力の向上に取り組む。 「高度な専門性」を伸長させるためにコンソーシアムや地域の企業等と連携し、講習会や講演会を実施する。 実験実習や課題研究をとおして知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性を向上させ、専門分野の実践的な力をつけるとともに、専門分野への探究心を育む。 	
	3 総合技術教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学校設定教科「総合技術」に設定される「地域活性プロジェクト」、「地域ビジネスと環境」及び普通科目内の学習プログラム「協創教育基礎」の実践や授業内容に関わる地域企業などとの連携等、地域の教育資産をカリキュラムに取り入れることにより、協創力や課題解決力の向上を図る。 他の総合技術高校との連携を深め、情報を共有することにより、学校設定教科「総合技術」の深化・発展を図る。 全校課題研究発表会の内容の充実を図り、本校の特色ある教育活動を企業や地域に向けて発信する良い機会と捉え効果的なPR方法について工夫する。 	
	4 進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を見通した指導体制の下、面談等を計画的に行い、生徒・保護者の個々の進路希望を把握し、様々な進路行事を通じて進路に対する意識を高める。 進学希望者、就職希望者に対する補習、面接指導等を計画的に実施するとともに、生徒個々の進路希望の実現に向け家庭との連絡を密に取りながら適切な支援を行う。 「キャリアパスポート」のシート、または学習支援サービスなどを活用し、自分の在り方や職業人としての生き方を構想し続ける力を育む。 新しい入試制度の情報収集に努め、適切な支援を行う。 	
学校づくり	1 安心・安全な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理意識を高め、事案発生の場合に迅速で適切な対応を組織的に行うためのシステムづくりをする。 職員間の情報共有を充実させ、不登校や障がいを抱えた生徒の日常生活を見守り、状況に応じてチームでの支援体制を整える。またSC(スクールカウンセラー)やSSW(スクールソーシャルワーカー)をはじめとした専門機関と連携を図り、校外外での支援体制を強化する。 様々な教育活動をおとして「集団の中の自分、自分を取り巻く集団」という意識を持たせ、人との関わり合いを大切にす態度を育む。 定期的にSST(ソーシャルスキルトレーニング)を実施し、生徒の自己理解を深め、コミュニケーション能力や社会的自立心の育成に努めるとともに、命を大切にす教育を推進していく。 新型コロナウイルス感染症対策をとりながら諸活動を進めていく。その際、自粛等が生徒の心身に与える影響を最小限に抑えるため、きめ細かな健康観察により生徒の状況の把握に努めるなど、専門機関との連携を含めた組織的な対応を学校全体であたる。 	
	2 環境美化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 美化委員会と職員の連携を強化し、日常の清掃活動やごみの分別収集について立案・実施・指導し、校内の清掃美化の徹底を図る。 環境問題に対する意識向上を目指し、美化委員会およびISO委員会の自主的な取り組みを職員全体で支援する。 	
	3 組織的な学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度実施の新指導要領に基づく新たな教育課程へのスムーズな移行を目指し、委員会を通じて3年次選択科目等の残された課題を検討。運用可能な状態にすべく最終調整を図る。 生徒個々の多様なニーズに対応すべく選択科目や学科横断科目などの多面的な学びを大切にしながら「地域協創スペシャリストの育成」を具現化するような教育課程を踏まえ、これらを踏襲したものとなるような新教育課程の編成を行う。 令和4年度1年生からの3観点学習評価の適用に向けて、関係する諸課題に対して各部署で検討し、連携をとりながら準備を進めてゆく。 公務支援システム(C4th)の運用を通して出欠管理や考査情報管理等、効率的な業務遂行を目指す。 令和4年度入学生からの生徒1人一台端末(BYOD)導入を目指し、関係部署で準備を進めていく。 新型コロナウイルス感染症対策を含む学校運営上の諸課題について係や学年が密接に連携しながら状況に応じた迅速な対応が取れる様な校内態勢を整える。 総合技術高校として発足してから8年が経過し、新たな取り組みの方向性に沿いながら運営上の諸課題の解決に取り組む。 安全運転、わいせつ行為、体罰、個人情報について研修等を行い、非違行為の未然防止に努める。 	